

2020 年度入学者対象 新入生学力調査実施要項

対 象

国際学群 301 人、スポーツ健康学科 100 人 (2 人)、看護学科 83 人 (5 人)

※ () 内の人数は編入学生的人数 (受検対象者として取り扱う) が示されている。

会 場

- 1) 試験本部・監督者控室 ⇒ 講義棟 111
 2) 試験会場 国際学群 ⇒ 講義棟 107、108、109、110
 人間健康学部 ⇒ 講義棟 209、210、211、212

日 程： 2020 年 4 月 3 日 (金) 8:30~10:50

時 間	試験監督者	学生 (受験者)	試験本部
8:00~8:45	8:30 までに試験本部 集合 英語の試験資料を受け取る 教室入室、音響環境チェック	8:45 までに 教室に入室	8:30 までに集合 監督者対応 学生対応
8:45~9:00	着席を誘導	指定座席に着席	
【英語試験】			
9:00~9:20	注意事項の説明 マークシート・問題冊子 (英語) 配付 マークシートに必要事項等の記入 アンケート調査回答 (国際学群のみ)	マークシート アンケートに 必要事項を記入	遅刻者への対応 トラブルへの対応
9:20~10:05	「英語試験」の開始・終了の合図 ※1 欠席者の確認 → 座席票に記入、本部報告	英語 試験	
10:05~10:15	問題冊子・マークシートの回収→本部に渡す 休憩 (10:15 までに入室指示)	休憩 (教室内 OK)	マークシート (英語) →東京に宅配便 (※2)
【問題等の配付と説明】			
10:15~10:35	一斉学力テスト終了後、読み上げをお願いします ますの資料を読み上げる。 以下の 5 点を配付する。 ①コード表：1 枚 ②問題冊子 (国語 S タイプ)：1 部 ③問題冊子 (数学 α・S タイプ)：1 部 ④マークシート (ピンク/国数共用)：1 枚 ⑤国語・数学 受検案内：1 枚 配付漏れがないか確認する。 ⑤の内容を読み上げ、周知を図る	配付物受け取り	看護学科は PROG 終了 後実施 (12:00~ サ クラウム大講義室 A) 担当：小番 (説明者)・ 玉井・玉城・看護 1 年 次担当教員
10:35~10:50	以下の 2 点を配付し、説明する。 ①問題解決力を図るテスト GPS-Academic 受検案内 ②GPS-Academic 受検の留意点 ※ここでの説明は基本的に L 機構教員で行う	配付物受け取り	

※1 開始・終了の合図は、試験監督者の時計によって行う。

※2 (英語のみ) 試験終了後、ヤマト運輸に答案の入った段ボール箱を提出。⇒4/6 (月) 午前 10 時までに東京都新宿区の公益財団法人日本英語検定協会に届くよう時間指定の形で当該郵便物の受け渡しを行う。

◆配置

試験本部・監督者控室（講義棟 111）

⇒小番、渡慶次、運営室職員、学習センター係員（LLC 井本、MSLC 吉村、MWC 戒田）

国際学群①高安・中里・学生（英語：中村）【講義棟 110：1420001～1420088】

②笠村・上門・学生（英語：メーガン）【講義棟 109：1420089～1420176】

③立津・卯田・学生（英語：半嶺）【講義棟 108：1420177～1420264】

④真喜屋・坪井・学生（英語：ノーマン・渡慶次）【講義棟 107：1420265～1420300】

人間健康学部スポーツ健康学科①山城・小賦・学生【講義棟 209：2120001～2120050】

②大峰・タン・学生【講義棟 210：2120046～2120090】

人間健康学部看護学科①玉井・新城・学生【講義棟 211：2220001～2220045】

②玉城・島袋・学生【講義棟 212：2220046～2220090】

※学生：飯塚竜之介、田外幸人、チョイ ウェン ホン、新垣七奈、菅原瑛里紗
永松未有、方ジョテイ、太田小雪、笹岡晏奈、西川桐子を配置する。
また、試験室の誘導係として学習センター係員を配置する。

◆試験監督者の「注意事項」

- 1) 試験監督者の時計で、「開始時間」と「終了時間」を計時する。
- 2) 携帯電話の電源を切ること。
- 3) 試験監督以外の仕事を持ち込まないこと。
- 4) 不明なことは試験本部に伝えること。
- 5) 学習力調査受検生及び試験監督者は必ず手指を消毒して、入室する。
- 6) 受検会場は基本的に窓やドアを開け換気を良くするが、英語リスニングの際は窓とドアを閉める。

◆学生に伝えるべき試験開始時の「注意事項」

- 1) 携帯電話は電源を切り、鞆の中などにしまうこと。
- 2) マークシートへの記入は、鉛筆あるいはシャープペンシルを用いること。
- 3) トイレにはあらかじめ行っておくこと。
- 4) 指示があるまで「問題冊子」を開かないこと。
- 5) 試験が終了するまで途中退室は認めない。
- 6) 机の上に出して良いものは、「鉛筆」、「シャープペンシル」、「消しゴム」、「時計」、「鉛筆削り」のみとすること。
- 7) 机の上に出して良いもの以外は、鞆の中にしまい、足元に置くこと。

◆このような場合は、どう対応するか

- 1) 学生のトイレ → 試験監督が同伴してトイレに行かせる。
- 2) 学生の体調が悪い → マークシートを回収し、試験本部に引率する。場合によっては、保健センター(0980-51-1066)に連絡する。
- 3) 学生の迷惑行為 → マークシートを回収し、試験本部に引率する。
- 4) 試験問題への質問 → コメントせず、試験本部に問い合わせをする。
- 5) 多くの学生の遅刻 → 会場の判断で、英語の試験開始時間を5分単位で遅らせる。
- 6) 地震・火災など → マークシートを裏側にし、安全に中庭へ誘導する。
- 7) リスニング用の音が鳴らない → 試験本部（渡慶次）に連絡する。